

電気工学特別講義 第 4 回～第 6 回分のレポート課題  
2009 年 6 月 16 日 力武 健次

## レポート課題

設問: クラウドコンピューティング化に伴い,我々の社会がどのように変化するかについて,各受講者の意見を述べよ. その際,以下の観点を取り入れること.

- 経済,政治,社会情勢の変化に伴うネットワーク中立性の変化
- マルチコア化による並行処理の普及に伴うシステム構築技術の変化
- データの所有権や利用権の変化に伴うプライバシーの考え方の変化
- クラウドコンピューティングを実現するためのインターネット技術の変化

解答は,日本語で,最低 200 字以上,最大でも 2000 字以内で記すこと.

解答は

- 要旨
- 理由の骨子(3 つ以上)
- その他の意見

の順番で述べること.

このレポート課題には基準となる解答は存在しない.

## レポートの提出に関する注意

- レポートは kenji.rikitake@acm.org 宛へ電子メールで送付すること.メールの Subject には SPAM フィルタ回避のため「電気工学特別講義レポート」と必ず入れること.メール送受信の際,携帯電話に関する技術的制限は一切考慮しない.
- 提出期限は,日本時間 2009 年 7 月 25 日午前 8 時 59 分までとする(必着).この期限を越えたレポートは受理しない.
- 回答は電子メールにてプレインテキストで提出すること.プレインテキストとは,改行コードと文字コード以外を含まない,書き下したテキストファイルのことである.
- プレインテキスト以外の形式での提出,つまり Word や Excel, HTML, PDF などの形式での提出は一切認めない.ただし,図版等による説明を行う場合は,1024x768pixels 以下の解像度の静止画の JPEG/GIF/PNG 形式の添付ファイルを使うことを,3 つまで認める.動画や音声によるプレゼンテーションは使用を認めない.
- 回答にあたり,引用は引用の箇所を明示し,参考文献として記すこと.回答には学籍番号,氏名を先頭に記すこと.箇所と内容を明示しない引用が行われた場合,不正行為とみなすことがある.
- レポート作成にあたり,Wikipedia やその他の Web での解説内容を出典の明示なく転載することは,常識の欠如のみならず他者の著作権を軽視した法に触れる行為であり,容認することはできない.同様に,他者の回答内容をそのまま転記したり剽窃したことが認められた場合は,内容のいかんにかかわらず,評価は不合格とする.この場合,試験の不正行為と同様の扱いとするので,注意されたい.
- 課題の内容に関する質問には,表記上の間違い等を訂正する場合を除き,一切回答しない.
- その他,レポート提出に関する情報は Web 上の <http://www.k2r.org/kenji/jp-ouees2009.html> に随時記載する.

[以上]